

## 実地演習に係る報告書の提出方法（チェック表）

<input type="checkbox"/>	作成方法	必ずパソコンにより作成
<input type="checkbox"/>	印刷方法	片面
<input type="checkbox"/>	資料の並び順	原則、正本は正本でまとめ、副本は副本にまとめ、正一式・副一式に分けて、提出
<input type="checkbox"/>	物件調査実地演習	土地-1、土地-2、土地-3、建物-1、建物-2、建物-3の並び順で一式とし、正一式・副一式を1部ずつ提出。本会HPに掲載している所定様式
<input type="checkbox"/>	一般実地演習	
<input type="checkbox"/>	実地演習報告内訳書 (必ず、A3)	正・副に分け、1～22細分化類型の番号順に並びかえたものを一式とし、正一式・副一式を1部ずつ提出
<input type="checkbox"/>	指定類型実地演習	<p>副本については、内訳書はA3とし、その他の資料は、各サイズをA4に縮小させ、正本のコピーで可。</p> <p>① 鑑定評価報告書                  ② 別表（取引事例比較法等の別表様式は定めていません。都合のよいもので可。）                  ③ 附属位置図                  ④ 物件調書一式（物件調査実地演習のフォーマットを使用。）                  ⑤ 想定上の鑑定評価依頼書（想定でなければ、不要）                  ⑥ 事例カード                  ※①～⑥の順番に並びかえたものを一式とし、正一式・副一式を1部ずつ提出</p> <p>⑦ 実地演習報告内訳書（必ず、A3）                  上記、①～⑥とは、別に分け、正一式・副一式を1部ずつ提出                  ※実地演習報告内訳書の提出が他にあれば、そちらに含め、正と副に分け、細分化類型の番号順に並びかえ、正一式・副一式を提出                  ※①、④、⑤、⑥、⑦は、本会HPに掲載している所定様式</p>
<input type="checkbox"/>	体裁	原則、全てクリップ留め。ホチキス、製本は不可。正・副の印は任意。 ※クリップのとめ方については、各内訳書ごと、各資料ごとには、クリップとめはしないようにし、正・副一式ごとに左肩1カ所のみ。
<input type="checkbox"/>	郵送方法	原則、書留扱いの郵便。実地演習実施状況報告書は同封可。 修習生毎に提出。封筒に修習生番号・氏名を必ず記入。 また、再履修に該当する方は、封筒に「実務修習期間内の再履修」・「延長期間における再履修」・「修了考査再受験のための再履修」の別を朱書きしてください。
<input type="checkbox"/>	提出期間	提出締切日の14日前から。書留扱いの郵便であれば、提出締切日の消印有効。 ※提出締切日の消印が土・日・祝日でも可。
<input type="checkbox"/>	その他注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真を現物はりつけの場合、カラーコピーをとったものを提出してください。 ※はがれることがあるため。</li> <li>・A3の資料は、印刷面を表に2つ折り</li> <li>・蛍光ペンの使用は不可</li> <li>・一度提出されたものの差し替えは、認めていません。</li> <li>・正はカラー印刷、副は白黒でも可。</li> </ul>
<input type="checkbox"/>	提出先	〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-11-15 SVAX TTビル 公益社団法人 日本不動産鑑定士協会連合会 実務修習担当課 宛